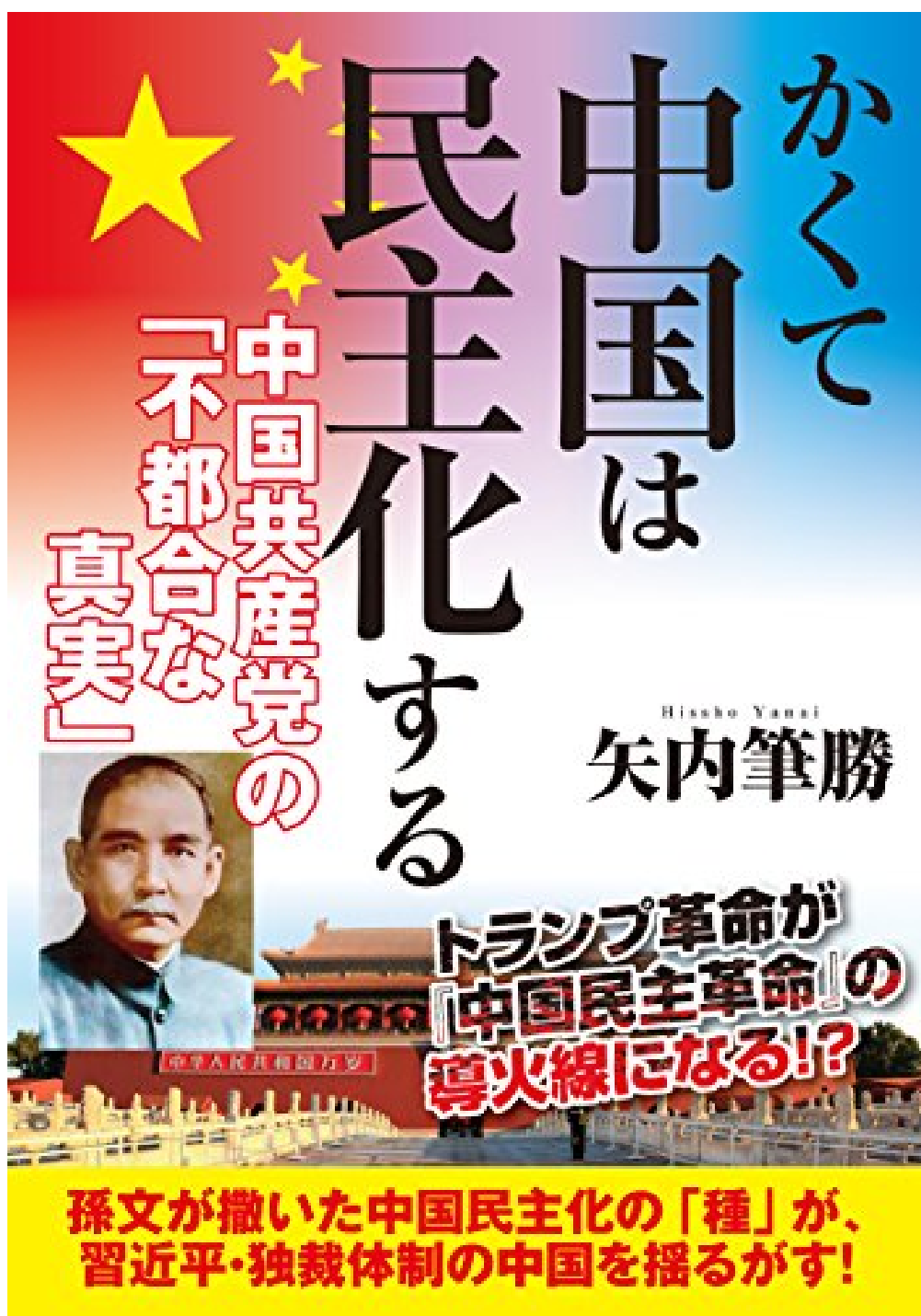


かくて中国は民主化する



発売日: 2017年4月28日

出版: 幸福の科学出版

著者: 矢内筆勝

ページ: 220

PDF

9000万人の共産党員が14億人の人民を、「嘘」と「力」と「恐怖」で支配する一党独裁国家、中国。

その中国の「民主化」は果たして可能なのか。

孫文から始まる「中国民主化の100年」を振り返りつつ、中国共産党が隠蔽する建国前後の「不都合な真実」を明らかにし、中国共産党による「正統性なき支配」の実態と、中国大陸に現在も「マグマ」のように流れる「民主化」への民衆の希求の存在を分析する。

元朝日新聞記者の著者が、トランプ革命以後の中国民主化の可能性と、それに向けた日本の役割と使命を示唆する。

【目次】

- 対談「中国の民主化と日本の使命」
- コミック「中国共産党の『不都合な真実』」
- まえがき
- 序章 「民主化」の定義について
- 第1章 中国における「民主化」の起源
 - 第1節 孫文の「三民主義」と「五・四運動」
 - 第2節 中国建国と協商会議
- 第2章 毛・トウ時代と「民主化運動」
 - 第1節 毛沢東と「民主化」
 - 第2節 トウ小平時代と「民主化」
- 第3章 「中国の民主化」とネット時代の民主化運動
 - 第1節 共産党と「中国の民主化」
 - 第2節 一党独裁の弊害とネット社会
- 終章

【著者略歴】

矢内筆勝（やないひっしょう）
幸福実現党総務会長兼出版局長
福島県本部代表

1961年福島県生まれ。早稲田大学社会科学学部卒業後、朝日新聞社会部記者を経て幸福の科学に入局。

主に広報部門を担当した後、月刊「ザ・リバティ」編集部、広報局長、常務理事等を歴任。

2012年12月より2013年7月まで、幸福実現党党首。2013年9月より現職。

2016年、拓殖大学大学院国際協力学研究科安全保障専攻博士前期課程修了。

2009年より中国本土や尖閣諸島近海を視察し、中国の軍事的な脅威の到来を警告。日本の国防強化政策を訴えてきた。

幸福実現党国防部会顧問。「中国の脅威から子供の未来を守る会」会長、「中国・マスコミ問題研究会」「福島安全宣言実行委員会」代表。

主な著書に『国難に備えよ！』『これが真実の放射能の話』『迫りくる！中国の侵略から沖縄を守れ！』『尖閣・沖縄が日本の領土である動かぬ証拠』（幸福の科学出版）など。

2017年、本論（原題『中国の民主化の起源と現在、そして未来 - 孫文の革命時代からネット社会へ - 』）で、幸福の科学ユートピア学術賞を受賞。

<http://yep.pm/Wb7JA6ni5/y9VNWZTNT.pdf.rar>